

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年3月30日

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村

保護者等数(児童数)45

回収数31

割合 69%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	0	0	1		訓練室・遊戯室ともに十分であると考える
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29	1	0	1		適切な人員数を配置しているが更なるスキルの向上を目指す
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29	1	0	1		図画、写真等を用いた視覚支援、無用な刺激を避ける室内・設備の工夫をしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29	2	0	0		安全確保や衛生的な環境の確保に留意し、点検している
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	30	1	0	0		支援会議等での検討、アセスメントを踏まえ個別支援計画を作成している
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29	1	0	1		支援内容の設定は検討の上行っているが、適切な検証を実行していく
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	2	0	1		短期・中期・長期に設定した目標の達成度を見ながら実践している
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	27	3	0	0		季節の変化等も踏まえてこうしんしている
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	1	1	5		殆どが保育園、幼稚園との並行通園である

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1	0	0	わかりやすく丁寧な説明を心がけていく
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	30	1	0	0	支援計画についての説明は共通理解をたもつためにも重要であり適切な説明をに日々工夫しながら行っていく
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	25	3	0	3	不定期ではあるがペアレントトレーニング等行っている
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	4	0	0	保護者との連絡・伝達を更にきちんと行う努力をしていく
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	2	0	0	本年度は感染症により母子通園が十分に実施できず今後他の方法等検討していきたい
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	3	1	6	母子通園、イベント等の開催を連携の場としているが別の仕組みも検討していく
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	0	0	0	相談などの申出に対して面談、電話等実施している
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	0	0	随時、見学・相談をお受けしているが改善する点を見直していく
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28	2	0	1	ホームページ、ブログ、毎月のお便り、ニュースレター等を使い発信の手段としている
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31	0	0	0	同意書、誓約書や日常の取り扱いの注意等確認している	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	2	0	4	マニュアルなどを整備しているが周知説明もさらに進める。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	1	0	4	毎月2回の避難訓練を実施している
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25	4	1	0	とても楽しみにしている。 楽しく遊ぶことができるよう常に努力していく
	23	事業所の支援に満足しているか	28	2	0	0	家での様子も変わってきた。 疑問やわからないところを気楽に聞いていただき解決できるよう努力していく

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。